

スリップによる交通事故の防止

～冬道は危険がいっぱいスローダウン！冬道の交通事故防止ポイント～

これからの時期は、一年のうちでもっとも寒さが厳しくなり、冬型の交通事故が増加する傾向にあります。

以下の「冬道の交通事故防止ポイント」を心掛け、安全運転に努めましょう。

①『急』の付く運転をしない

急発進、急加速、急ブレーキ。これらの急な運転は、タイヤが空転を起こしたり、車のコントロールができなくなり危険です。

②夏の10 km/h以上減速する

積雪、凍結路面の停止距離は、夏場の3倍から10倍以上になることがあります。停止距離を縮めるためには、減速が一番です。

③交差点付近は特に注意！

交差点付近は、車の停止・発進により路面が磨かれ、非常に滑る状態になりやすいので、注意が必要です。



④車両の性能を過信しない

4WD車は発進・登坂性能に優れていますが、制動性能は2WD車と変わりありません。

⑤スリップしても急ブレーキを踏まない

スリップに驚いて急ブレーキをかけると、スピンなどをしてしまう場合があります。



⑥カーブには『スローイン』で

カーブの途中でブレーキをかけると、スピンなどの危険性があります。カーブに入る手前で十分減速し、カーブに進入しましょう。



- 69 -

地域に還元できる、地域にとけ込んだ奉仕をしていきたい。

畑 久雄さん (東瓜幕)

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区
第3R・第3Zゾーンチェアパーソン
(鹿追ライオンズクラブ所属)

平成23年10月、「鹿追ライオンズクラブ」(野村英雄会長)は創立45周年を迎えた。
同クラブは、1966年7月、国内で1106番目、北海道道北・道東地区では46番目のライオンズクラブとして、17人のメンバーで立ち上がった。
クラブの会長を1987年から1年間の任期で努め、入会30年を迎えるのが畑久雄さん。
ライオンズクラブ国際協会では「We Serve (われわれは奉仕する)」のモットーのもと、畑さん自身も奉仕の志をもってクラブの活動を行ってきた。
現在、鹿追ライオンズクラブは会員21人。月2回の例会、会員増強や青少年育成、視力ファースト・献眼推進、また交通安全を呼びかける旗ふりや道路清掃など幅広い活動を実施。また、5年ごとの記念事業では、町内施設などに品物の援助を行っている。

「地域に還元できる、地域にとけ込んだ奉仕をしていきたい」
町民、地域のことを考え、そのために力を尽くす。
「クラブ会員は皆異業種で、さまざまな層の人と話ができ、とても楽しい。」
「人の意見が自分のためになり、その逆の場合も」
クラブ会員であることで、自身の知識が広がったと話す。
活発な活動を行っている一方で、「40～50代の若い世代会員が少なく、さみしい」と悩みごともある。
「会員数が多ければ、活動は大きくでき、一人の負担は少なくなります」
現在の会員を30人程度まで増やすこと、退会者を防止することがクラブの目標でもある。
「ひとつひとつ、一人一人の力は小さいけれど、小さい力が集まれば大きな力を発揮することができます。その力が幸せて平和の国につながります」
地域から国へと、広い視野で奉仕を考えるライオンズクラブ。
「困っている人がいれば手を差し伸べてあげてください」
ほんの小さなことでも、人の心を温かく幸せにできることがあるのかもしれない。
「鹿追ライオンズクラブに少しでも興味を持っていただいた方は、野村会長でも、私でも、隣の家のクラブ会員でもいいので、気軽に声を掛けてください」

気をつけて！悪質商法

1月の消費生活相談員相談日

1月の「消費生活相談員による来町相談日」は次のとおりです。皆さんからの相談は秘密を厳守しますので、安心してご相談ください。

- 相談日 1月20日(金) 午後1時30分～4時30分
- 会場 トリムセンター
- 相談員 上村正子(かみむらまさこ) 帯広市在住

悪質商法にご注意を

多重債務

金融業者から借りたお金を期日までに返すために、別の業者から新たに借り入れをするなどして借金を繰り返して返済が困難になることを多重債務といいます。

○多重債務者を狙うヤミ金融

借りられない、返せない人を狙ったヤミ金融による被害が増えています。違法な高金利でお金を貸し出す、暴力的な取り立てをする、保証金だけをだまし取る業者もあります。「ヤミ金融」は絶対に利用してはいけません。

○多重債務にならないために

- ・将来の収入の見通しは慎重に考える。
- ・右肩上がりに伸びていく保証はない。
- ・安易にキャッシングをしない。
- ・クレジットカードや消費者金融を利用するときは、必ず金利計算をしてみる。
- ・クレジットカードの枚数は増やさないように注意する。
- ・返済のための借り入れはしない。

